

V・P多重形 カラーテレビカメラ

取扱説明書

工事説明付き

品番 WV-CW830/12,18,36

この取扱説明書と保証書をよくお読みの
うえ、正しくお使いください。そのあと
保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」
などの記入を必ず確かめ、販売店からお
受け取りください。

保証書別添付



[カメラ取付台 取付時]

もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	3
使用上のお願い	5
各部の名前と働き	6
設定画面と基本操作	7
各種機能の設定	9
カメラタイトルを設定する	9
光量制御方式を設定する	10
シャッター機能を設定する	13
ゲインコントロールを 設定する	13
電子感度アップを設定する	14
ホワイトバランスを設定する	15
設置上のお願い	17
設置のしかた	18
設置例	18
設置のしかた	19
接続例	20
カメラの微調整のしかた	21
仕様	22
保証とアフターサービス	裏表紙

はじめに

操作説明

工事説明

付録

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、テルック専用のビデオ受像機に接続して使用する屋外用のカラーテレビカメラです。ビデオ受像機との接続は同軸ケーブル1本のみで行えます。データ通信機能を持ったカメラ駆動ユニット(別売品)を使用すると、カメラコントローラー(別売品)で機能設定できます。主な特長は以下のとおりです。

- 防水仕様 JIS-C-0920 防噴流形です。
- フレームインターライン型(FIT)CCDの採用により、約1/100のスミア量を実現しました。
- 38万画素 1/2型 CCDの採用により、高解像度を実現しました。
- レンズ
 - WV-CW830/12 : 12 mm
 - WV-CW830/18 : 18 mm
 - WV-CW830/36 : 36 mm
- 低ノイズ回路設計により、最低照度1.5 lx(F1.4)を実現しました。(WV-CW830/12,18使用時)
- 本機とビデオ受像機間の最大延長距離は、約250 m(同軸ケーブル5C-2V使用時)です。(3C-2V使用時は、約100 m)

付属品をご確認ください

カメラ取付台	1	専用同軸ケーブル(5 m)	1
取付ねじ(M4)	4	コードクランプ	1
ワッシャー	4	取扱説明書(本書)	1
安全ワイヤー	1	保証書	1
取付ねじ(M3)	3		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

修理や点検は、販売店にご連絡ください。

専用の電源以外は使用しない



火災の原因となります。

禁止

重量に耐える場所に 取り付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下などでけがの原因となります。

十分な強度に補強してから取り付けてください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

注意

定期的に点検する



取付部が劣化すると、落下などでけがの原因となります。

点検は販売店にご連絡ください。

使用上のお願い

カメラを太陽に向けないでください

カメラを使用している、いないにかかわらず、レンズを太陽に向けないでください。

前面ケースを開けないでください

防水性能が低下します。

強い光を撮らないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング¹、スミア²を生じることがあります。

使用温度範囲を守ってください

使用温度範囲は、-10 ~ +50 です。この範囲外での使用は、画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので避けてください。

寒冷地での使用は

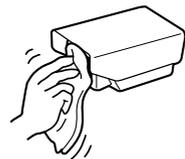
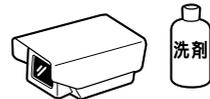
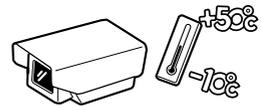
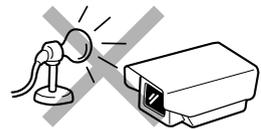
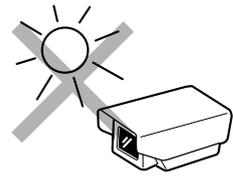
0 以下で電源を入れると霜が付着することがありますが、電源を切らずにそのまま使用してください。

カメラの外観が汚れたときは

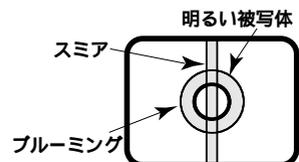
電源を切り乾いた布でふいてください。汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤(中性)をやわらかい布に浸み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

ガラス面の清掃は

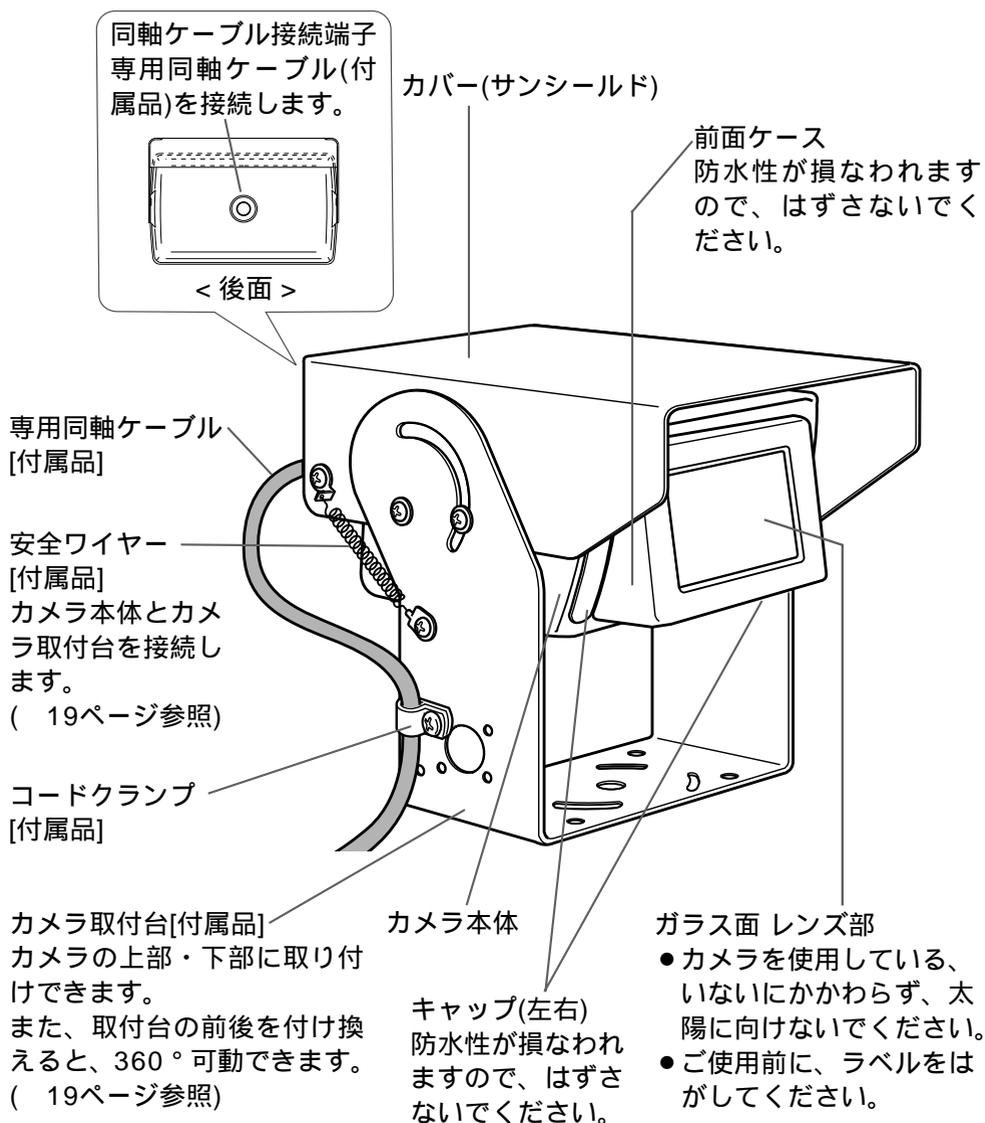
レンズクリーニングペーパー(眼鏡やカメラの清掃に使うもの)で行ってください。溶剤を使用する場合はアルコール類を使用し、シンナー系のものは使用しないでください。



- 1 ... ブルーミングとは、画面に映っている強い光の周りがにじむ現象。
- 2 ... スミアとは、画面に映っている強い光の上下に縦縞が発生する現象。



各部の名前と働き



表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をご参照ください。

設定画面と基本操作

はじめに

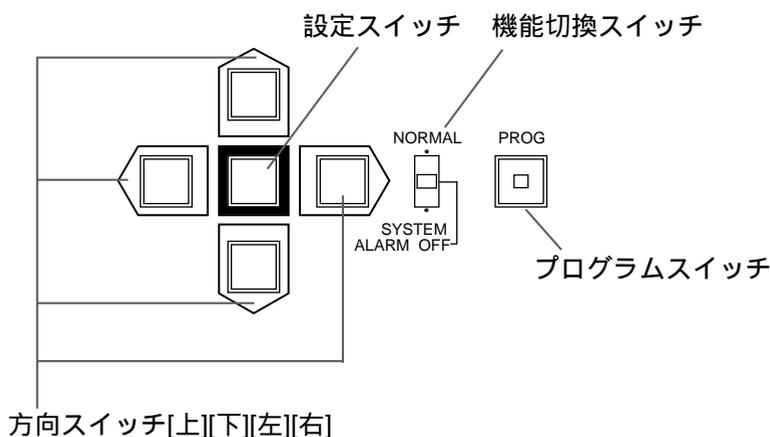
- 本機の各種機能は、設定画面上で設定します。
最初に表示されるメニューを「メニュー選択画面」と呼びます。
- 機能の設定は、別売のカメラコントローラーとカメラ駆動ユニットを接続して行います。
本書では、カメラコントローラーWV-RM70(別売品)接続時について説明します。
他の機種接続時については、その機種の説明書をご参照ください。

カメラ駆動ユニットについて

データ通信機能を持った機器をご使用ください。データ通信機能を持っていないと、カメラコントローラーでメニュー選択画面を開くことができません。

設定を行うときの基本操作

設定は、カメラコントローラー(別売品)の[上][下][左][右] 方向スイッチ、設定スイッチを押して行います。



方向スイッチ[上][下][左][右] : カーソルを上下左右に移動します。

設定スイッチ : 設定内容を確定します。

また、設定画面を切り換えます。

機能切換スイッチ

: 本機の設定を行う場合は、「NORMAL」か「ALARM OFF」にしてください。

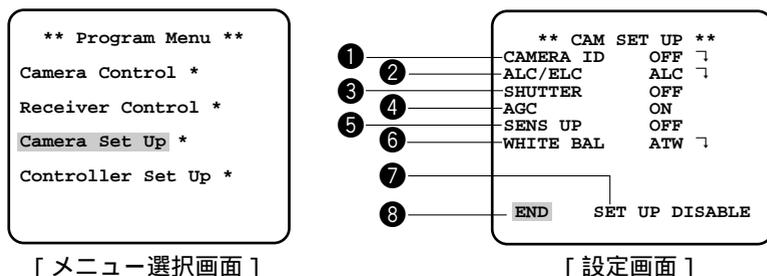
プログラムスイッチ

: メニュー選択画面を表示します。

(8ページ参照)

設定画面と基本操作

メニュー選択画面の表示



[メニュー選択画面]

[設定画面]

1. プログラムスイッチを2秒以上押します。
メニュー選択画面が表示されます。
2. カーソルを「Camera Set Up」に移動し、設定スイッチを押します。
設定画面が表示されます。
3. 設定スイッチ、方向スイッチでカメラの設定を行います。
(9ページ～16ページ参照)
4. プログラムスイッチを押します。
メニュー選択画面に戻ります。
5. 再度、プログラムスイッチを押します。
通常の映像画面に戻ります。

設定画面について

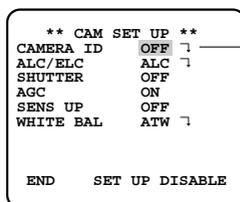
設定画面上の各項目は、以下のことを表しています。また、設定項目の右側に矢印があるもの(例えば、CAMERA ID OFF)は、詳細項目を設定する画面があることを表しています。

- ①CAMERA ID : カメラタイトルの設定項目。(9ページ参照)
- ②ALC/ELC : 光量制御方式の設定項目。(10ページ参照)
- ③SHUTTER : シャッターの状態を表示します。(13ページ参照)
- ④AGC : ゲインコントロールの設定項目。(13ページ参照)
- ⑤SENS UP : 電子感度アップの設定項目。(14ページ参照)
- ⑥WHITE BAL : ホワイトバランス方式の設定項目(15ページ参照)
- ⑦SET UP : 設定モード。「DISABLE」と表示されている場合は、設定内容を変更できません。(21ページ参照)
- ⑧END : 本機では使用できません。

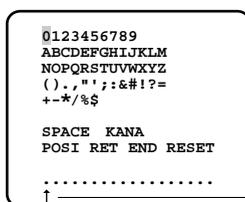
各種機能の設定

カメラタイトル(CAMERA ID)を設定する

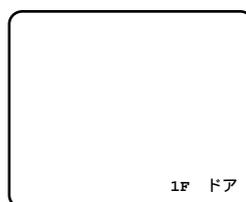
カメラの設置場所などを表すタイトルを作成し、画面上に表示します。



[設定画面]



[タイトル作成画面]



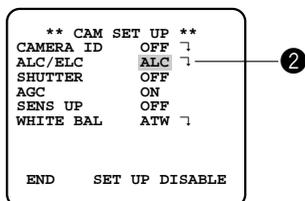
[表示位置設定画面]

1. カーソルをCAMERA IDの設定項目①に合わせ、[左]または[右]方向スイッチでON/OFFを切り換えます。(工場出荷時の設定は「OFF」です)
ON : カメラタイトルを表示します(手順2へすすむ)
OFF : 表示しません
2. カーソルを「CAMERA ID」の設定項目①に合わせたままの状態を設定スイッチを押し、タイトル作成画面を表示します。
3. [上][下][左][右]方向スイッチで表示したい文字にカーソルを合わせて設定スイッチを押し、タイトル(例: 1F ドア)を作成します。(最大16文字)
 - ① 「1」にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。
 - ② 「F」にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。
 - ③ 「SPACE」にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。
 - ④ 「KANA」にカーソルを合わせて設定スイッチを押し、カタカナ入力画面を表示します。
 - ⑤ 「ト」にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。
 - ⑥ 「`」にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。
 - ⑦ 「ア」にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。
4. 文字を変更するときは、カーソルを作成領域の矢印()^aに合わせ、[左]または[右]方向スイッチで矢印^aを変更する文字に合わせ再入力すると、上書きされます。文字を全部消去するときは、「RESET」にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。
5. 「POSTI」にカーソルを合わせて設定スイッチを押し、表示位置設定画面を呼び出したら、[上][下][左][右]方向スイッチで画面に表示する位置を決めます。位置が決まったら再度、設定スイッチを押します。
6. 設定画面に戻るときは「RET」、または「END」にカーソルを合わせ、設定スイッチを約2秒押します。

各種機能の設定

光量制御方式(ALC/ELC)を設定する

使用するレンズに合わせて、カメラに入る光量の制御方式を設定します。



[設定画面]

1. カーソルをALC/ELCの設定項目②に合わせ、[左]または[右]方向スイッチでALC/ELCを切り換えます。(工場出荷時の設定は、「ALC」です)
2. 逆光補正の設定を行う場合は、11,12ページをご参照ください。

メモ

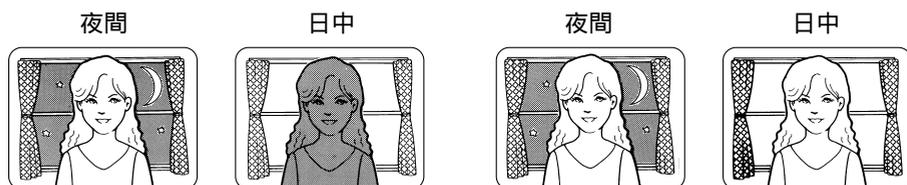
- ・ ELCに設定した場合、ホワイトバランス方式(15ページ参照)は自動的に「ATW」に切り換えられます。ELCを使用する場合は、SHUTTER機能は使用不可(OFF)になります。
- ・ 「ELC」に設定すると絞りは最大に開き、焦点深度が浅くなり、遠くの被写体に焦点が合わない場合があります。

逆光補正について

- ・被写体の背景にスポットライトのような明るい照明があると、カメラは明るい部分に合わせて絞りを設定するため、被写体が暗くなります。
- ・この現象を解消するために、背景の明るい部分にマスクをかけて、明るい部分を検出せずに逆光補正を行うことができます。
- ・逆光補正には、カメラ側で光の状態を検出して自動的に補正を行うPRESET ONモードと、検出範囲を自分で設定するPRESET OFFモードがあります。

[逆光補正を行わない場合]

[逆光補正を行う場合]



PRESET ONモード

自動で逆光補正を行います。

工場出荷時は、この設定になっています。

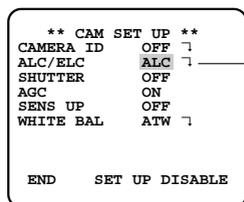
PRESET OFFモード

検出範囲を自分で設定します。

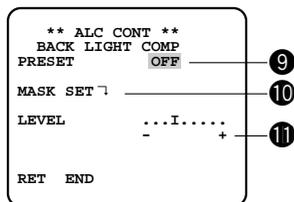
この場合、手動で背景の明るい部分にマスクをかけ(隠し)、画面中央の被写体をはっきり映るように設定できます。

各種機能の設定

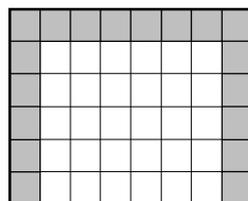
逆光補正検出範囲を設定する



[設定画面]



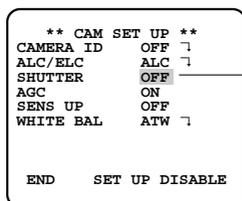
[逆光補正設定画面]



[マスク設定画面]

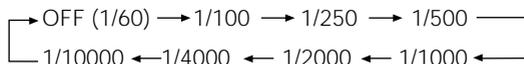
1. カーソルを「ALC/ELC」の設定項目②に合わせて、[左]または[右]方向スイッチでALCまたはELCに切り換えます。(工場出荷時の設定はALCです) 設定スイッチを押し、ALCまたはELCの逆光補正設定画面を表示します。
2. カーソルを「PRESET」の設定項目⑨に合わせ、[左]または[右]方向スイッチでON/OFFを切り換えます。(工場出荷時の設定は、「ON」です)
ON : 自動で逆光補正を行います。(手順5へすすむ)
OFF : 検出範囲を設定して逆光補正を行います。(手順3へすすむ)
3. カーソルを「MASK SET」⑩に合わせて設定スイッチを押し、マスク設定画面を表示します。マスク設定画面では、画面を48区画に分割しており、左上の区画を点滅表示します。
4. 背景の明るい部分の区画にマスクをかけます。
 - ①画面上の点滅表示を、[左]または[右]方向スイッチでマスクをかけた区画に合わせます。
 - ②設定スイッチを押し、マスクをかけます。マスクをかけた区画は白くなります。マスクがかかっている区画に点滅表示を合わせると、横縞と白の交互表示になります。マスクの設定を取り消したいときは、その区画に点滅表示を合わせ、設定スイッチを押します。
 - ③手順①,②の操作を繰り返してマスクの設定が完了したら、設定スイッチを約2秒以上押し続け、逆光補正設定画面に戻ります。
5. 映像出力レベル(画像のコントラスト)を変更するときは、カーソルをLEVELの設定項目⑪に合わせて、[左]または[右]方向スイッチで調整します。
6. 設定画面に戻るときは「RET」, または「END」にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。

シャッター(SHUTTER)機能を設定する



[設定画面]

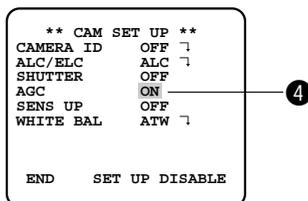
・電子シャッターのスピード



1. カーソルを「SHUTTER」の設定項目③に合わせ、[左]または[右]方向スイッチで電子シャッターのスピードを切り換えます。(工場出荷時の設定は、「OFF(1/60)」です)

注 : ALC/ELCの設定項目②をELCに設定している場合、SHUTTER機能は働きません。

ゲインコントロール(AGC)を設定する



[設定画面]

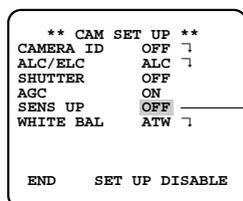
1. カーソルを「AGC」の設定項目④に合わせ、[左]または[右]方向スイッチでON/OFFを切り換えます。(工場出荷時の設定は、「ON」です)

ON : 被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします

OFF : ゲインを上げません(通常映像のまま)

各種機能の設定

電子感度アップ(SENS UP)を設定する



⑤

・電子感度アップ



[設定画面]

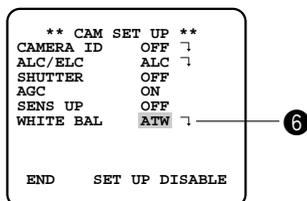
1. カーソルを「SENS UP」の設定項目⑤に合わせ、[左]または[右]方向スイッチでON/OFFを切り換えます。(工場出荷時の設定は、「OFF」です)
ALCモードでSHUTTER OFFのとき、カメラの感度を上げることができます。

注 : ● SENS UPをAUTO設定で使用する場合でSHUTTERを1/100で使用するとき、はじめにSHUTTERを設定してからSENS UPを設定してください。

- SENS UPの倍率を上げると画面がざらついたり、斑点が現れる場合がありますが、異常ではありません。

ホワイトバランス(WHITE BAL)を設定する

ホワイトバランスを調整する方式を設定します。



[設定画面]

1. カーソルを「WHITE BAL」の設定項目⑥に合わせ、[左]または[右]方向スイッチでATW/AWCを切り換えます。(工場出荷時の設定は「ATW」です)
ATW: 自動色温度追尾モード(手順2へすすむ)
AWC: 自動ホワイトバランスコントロールモード(手順3へすすむ)
2. ATWを選んだ場合は、カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調整します。
3. AWCを選んだ場合は、表示が「AWC PUSH SW」にかわるので、設定スイッチを押し、ホワイトバランスを調整します。(調整中「PUSH SW」点滅表示)
4. 「PUSH SW」の点滅が停止したらホワイトバランスの調整は終了です。
[右]方向スイッチを押し、表示を「AWC」にします。
5. ホワイトバランスの微調整をする場合は、16ページをご参照ください。

メモ

- ・ 自動色温度追尾モード(ATW)でホワイトバランスがとれないときは、自動ホワイトバランスコントロールモード(AWC)にしてください。
- ・ 下記の条件下では、自動色温度追尾モード(ATW)では色が忠実に再現できませんので、自動ホワイトバランスコントロールモード(AWC)にしてください。

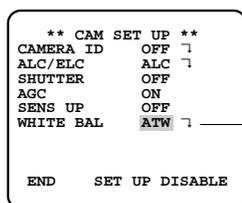
被写体の大部分が強烈な色であるか、光源がぬけるような青空や夕暮れ時の太陽の場合

被写体を照らす照明が暗いとき

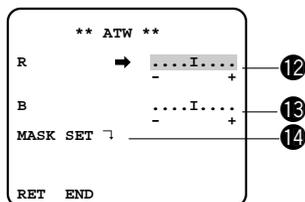
各種機能の設定

ホワイトバランスの微調整

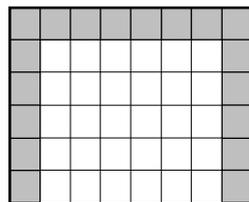
自動色温度追尾モード(ATW)、自動ホワイトバランスコントロールモード(AWC)でホワイトバランスを自動調整した後に、手動で微調整することができます。



[設定画面]



[ATW/AWC微調整画面]



[マスク設定画面]

1. カーソルを「WHITE BAL」の設定項目⑥に合わせて設定スイッチを押し、ATW/AWC微調整画面を表示します。
2. カーソルをRの設定項目⑫、Bの設定項目⑬に合わせ、[左]または[右]方向スイッチで微調整します。
Rは赤色、Bは青色を表しており、+方向に動かすと色が強く、-方向に動かすと色が弱くなります。
3. ATW,AWCの検出範囲を設定する場合は、下記をご参照ください。
4. 設定画面に戻るときは「RET」、または「END」にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。

ATW,AWC検出範囲の設定

ホワイトバランスは、画面上の色温度を自動的に検出し調整していますが、画面上に明るすぎる光源などがあると、正常に調整することができない場合があります。

このようなときは、明るすぎる光源などにマスクをかけ、検出しないように設定することができます。

1. カーソルを「MASK SET」⑭に合わせて設定スイッチを押し、マスク設定画面を表示します。
2. マスクをかけます。手順は逆光補正検出範囲の設定と同じです。12ページの手順4をご参照ください。

設置上のお願い

落としたり、強い衝撃を与えないでください
故障の原因となることがあります。

騒音の高い場所は避けてください
エアコン、空気清浄器、自動販売機などの付近は、雑音の入る原因となります。

電波障害について
テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界の近く(モータやトランスなど)では、雑音や映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、専用の薄電線管を設けてカメラケーブルを通線してください。

カメラケーブルは電灯線などに近づけて配線しないでください
雑音の入る原因となります。

ビデオ受像機と外部スピーカーは離して設置してください
ハウリングの起こる原因となります。

カメラ、ビデオ受像機間の最大延長距離は、250 mです
(同軸ケーブル5C-2V使用時)

設置後、カメラ本体とカメラ取付台に必ず安全ワイヤー(付属品)を取り付けてください。(19ページ参照)

設置のしかた

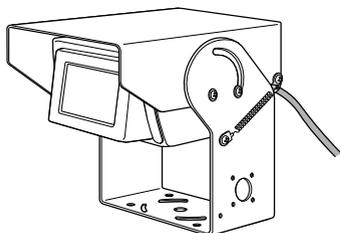
設置例

付属のカメラ取付台を使用した設置例です。

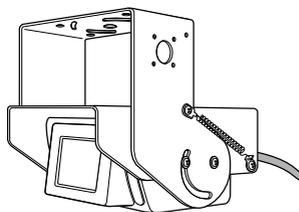
カメラ取付台の前後を付け換えることにより、360°可動できます。

取り付けかたは、19ページをご参照ください。

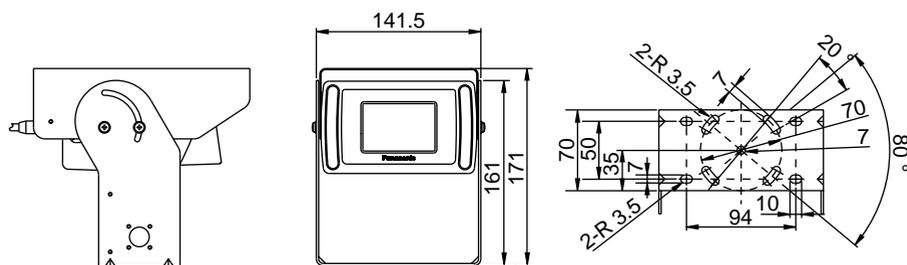
[カメラ取付台下取付時]



[カメラ取付台上取付時]



[カメラ取付台寸法図]



メモ

- ・カメラの重量に十分耐えられる場所に取り付けてください。
- ・取付場所の材質により、取り付けかたが異なります。

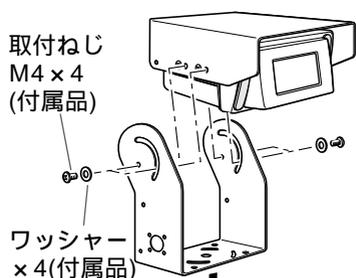
木材の場合 木ねじで固定。板厚は15 mm以上必要。

鋼材の場合 M6のボルトナットで固定。

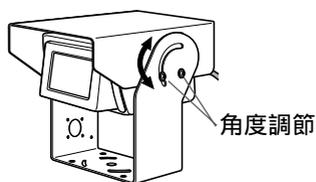
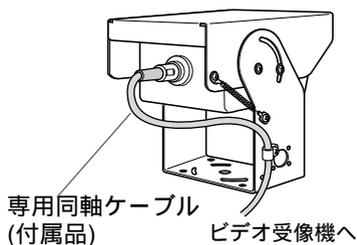
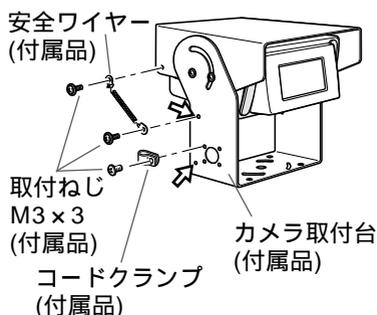
コンクリート壁の場合 ドライビットまたは松下電工製のAYプラグボルトで固定。

設置のしかた

取り付けは、各機器の電源を切った状態で行ってください。



設置場所に固定



1. 設置場所にカメラ取付台を固定します。
カメラ取付台の固定ねじは、設置場所の材質に合わせて調達してください。
2. カメラ取付台にカメラを取り付けます。
付属の取付ねじ(M4 x 4本)とワッシャー(x 4本)で取り付けます。
3. 安全ワイヤー(付属品)で、カメラとカメラ取付台を接続します。取付ねじ(M3 x 2本：付属品)で、確実に取り付けます。
カメラ取付台の取付場所によって、 \curvearrowright のいずれかの取付穴に取り付けてください。
4. 専用同軸ケーブル(付属品)を、カメラ後面の同軸ケーブル接続端子に接続します。ケーブルをコードクランプ(付属品)に通して、取付ねじ(M3 x 1本：付属品)で固定します。

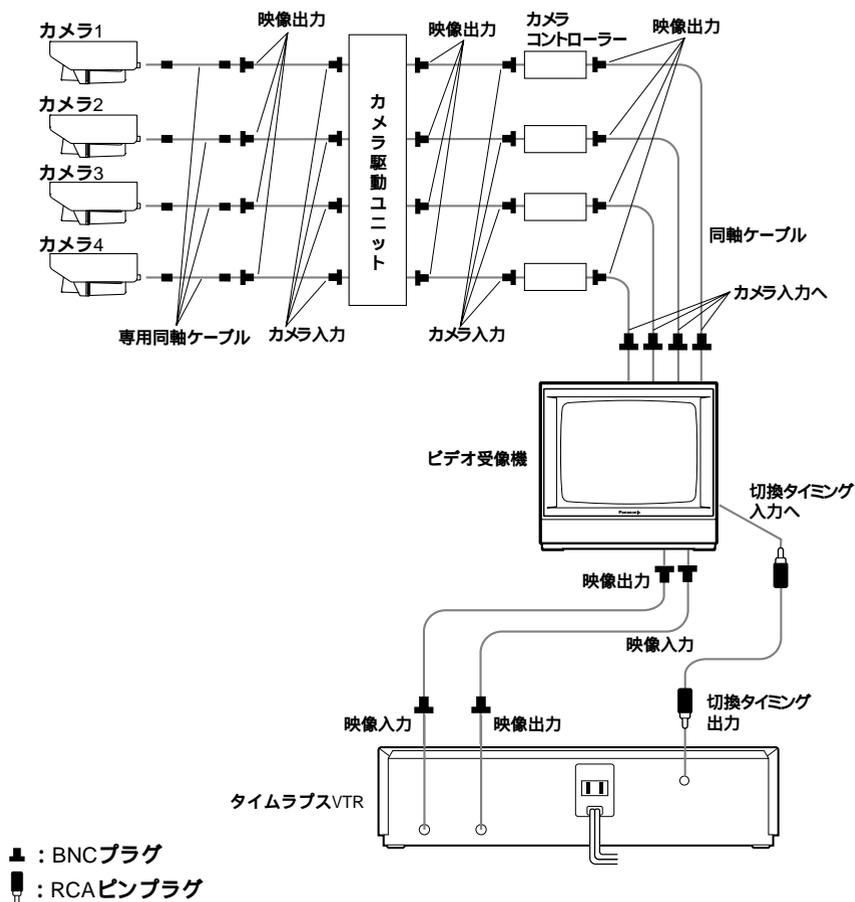
お願い

専用同軸ケーブル接続時に、カメラ側とケーブル側のコネクタピンの位置を確認して、まっすぐに挿入してください。
無理に接続すると故障の原因となります。

5. 同軸ケーブルの片側をビデオ受像機のカメラ入力端子に接続し、ビデオ受像機の電源を入れます。
6. ビデオ受像機の画面を見ながらカメラ取付台の取付ねじを少しゆるめ、カメラの角度を調節します。調節後は、確実に取付ねじを締め付けてください。

設置のしかた

接続例 (カメラ駆動ユニット WV-PS15,WV-PS154を使用した場合)
接続する機器の説明書も、合わせてご参照ください。

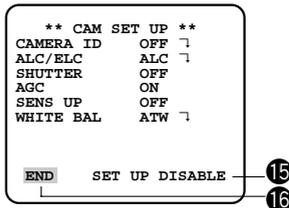


カメラ駆動ユニットについて

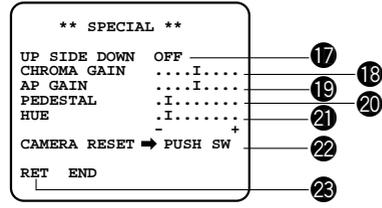
データ通信機能を持っていないカメラ駆動ユニットを使用した場合は、カメラコントローラーでメニュー選択画面を開くことができません。

カメラの微調整のしかた

設置場所(使用環境)に合わせてカメラの映像信号を微調整できます。



[設定画面]



[特別メニュー画面]

1. 設定画面を表示し、「DISABLE」**15**にカーソルを合わせ、「ENABLE」に切り換えます。
2. カーソルを「END」**16**に合わせ、[左]、[右]方向スイッチを同時に約2秒間押し([左]方向スイッチを先に押します)、特別メニュー画面を表示します。
3. カーソルを設定項目**17**~**21**に合わせ、[左]または[右]方向スイッチで設定します。
 - 「UP SIDE DOWN」**17**、上下反転の切換
ON : 上下を反転します
OFF : 反転しません(工場出荷時設定)
 - 「CHROMA GAIN」**18**、色の濃さの調整
(ベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら行ってください)
+ 方向 : 色が濃くなります
- 方向 : 色が薄くなります
 - 「AP GAIN」**19**、画質の調整
(カラービデオモニターを見ながら行ってください)
+ 方向 : シャープな画面になります
- 方向 : ソフトな画面になります
 - 「PEDESTAL」**20**、画面の明るさ調整
(波形モニターかカラービデオモニターを見ながら行ってください)
+ 方向 : 明るい画面になります
- 方向 : 暗い画面になります
 - 「HUE」**21**、色合いの調整
(ベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら行ってください)
+ 方向 : 肌色が紫色になる場合に調整
- 方向 : 肌色が緑色になる場合に調整
4. ● 出荷時の設定に戻すときは、カーソルを「CAMERA RESET」**22**に合わせ、[左]、[右]方向スイッチ、設定スイッチを同時に約2秒間押し続けます。
 - 設定画面に戻るときは「RET」の設定項目**23**にカーソルを合わせ、設定スイッチを押します。
 - メニュー選択画面に戻るときは、プログラムスイッチを押します。
さらに通常の映像画面に戻るときは、プログラムスイッチを再度押します。

仕様

カラーテレビカメラ

電源	テルック専用カメラ駆動ユニットよりDC電源供給
消費電流	定電流 310 mA
撮像素子	1/2型 フレームインターライン転送方式CCD
有効画素数	771 (H) × 492 (V)
走査面積	6.4 mm(H) × 4.8 mm(V)
走査方式	2:1インターレス
走査周波数	水平 : 15.734 kHz 垂直 : 59.94 Hz
同期方式	多重VD同期(VD2)
解像度	水平 : 480本以上(中心部) 垂直 : 350本以上(中心部)
最低照度	WV-CW830/12,18 : 1.5 lx (F1.4) WV-CW830/36 : 2.5 lx (F1.8)
S/N	50 dB [AGC OFF時]
映像出力	1.16 V[p-p] / 75 、コンポジット信号
ALC駆動	DC駆動
機能	カメラタイトル 最大16文字表示(アルファベット,カタカナ,数字,記号)
	光量制御 ALC/ELC
	電子シャッター OFF(1/60),1/100,1/250,1/500,1/1000,1/2000,1/4000,1/10000
	AGC ON/OFF
	電子感度アップ OFF,X2 AUTO,X4 AUTO,X6 AUTO,X10 AUTO,X16 AUTO X32 AUTO,X2 FIX,X4 FIX,X6 FIX,X10 FIX,X16 FIX,X32 FIX
	ホワイトバランス ATW/AWC
最大ケーブル延長距離	250 m (5C-2V使用時)
使用温度範囲	- 10 ~ + 50
寸法	137(幅) × 91(高さ) × 186(奥行き) mm
質量	約 1.5 kg
仕上げ	FITグレー(マンセル4.4G/4.0/0.1近似色)

カメラ取付台(付属品)

寸法	141.5(幅) × 161(高さ) × 70(奥行き) mm
質量	約500 g
仕上げ	FITグレー(マンセル4.4 G/4.0/0.1近似色)

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、カラーテレビカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ年月日	年 月 日	品番	WV-CW830/12,18,36
販売店名		☎ ()	-

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

NM1199-1129

V8QA5346BN